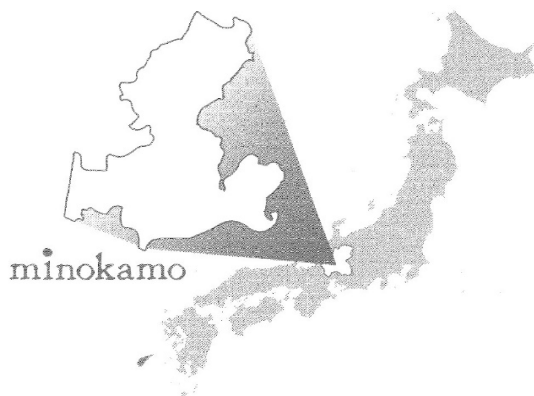


統計からみた美濃加茂市の姿

(ポケット統計)



○市章



美濃加茂市の「か」の字を図案化したもので、古来より中部経済圏交通の要衝であり、また日本ライン発祥の地であることにちなみ、中央位斜曲線により、日本ラインの流れを力強く優美に象徴したものである。

○市制施行 昭和29年4月1日

○総面積 74.81km² (令和6年度固定資産税概要調書)

○位置 (市役所) 東経137°00' 56" 北緯35°26' 25"

○広がり 東西11.6km 南北13.8km

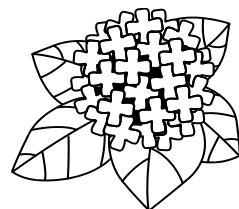
極東	東経	137°05' 12"	(下米田町信友)
極西	東経	136°57' 32"	(加茂野町稲辺)
極南	北緯	35°25' 48"	(深田町2丁目)
極北	北緯	35°33' 14"	(三和町廿屋)

○海拔 最高地 559.2m (御殿山山頂) 最低地 59.1m (草笛町4丁目)

○市の色 **水の青 コバルトブルー**
ラインの清流を象徴し、母なる木曽川の水と調和し、青年都市としての若さとさわやかさを表す色。これをラインブルーと名付ける。

○市の花 あじさい(ゆきのした科)

○市の木 むく(にれ科)



お問い合わせ・照会

〒505-8606 岐阜県美濃加茂市太田町3431番地1

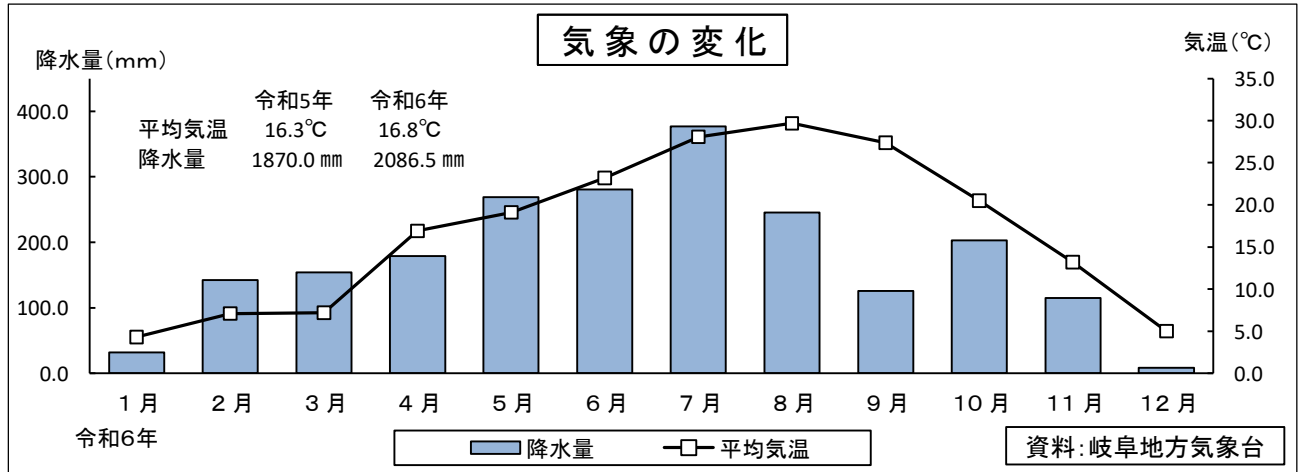
美濃加茂市経営企画部企画課 TEL 0574-25-2111

ホームページ <https://www.city.minokamo.lg.jp>

目 次

気 象		1
土地利用		
住 居		
人口動態		2
産業構造		4
医療・保険		6
衛 生		
社会福祉		
教 育		7
防 災		
交 通		8
文化・観光等		10
インフラ		
行政経営の状況		11
市民憲章		12
都市宣言		
10大ニュース		13

気 象

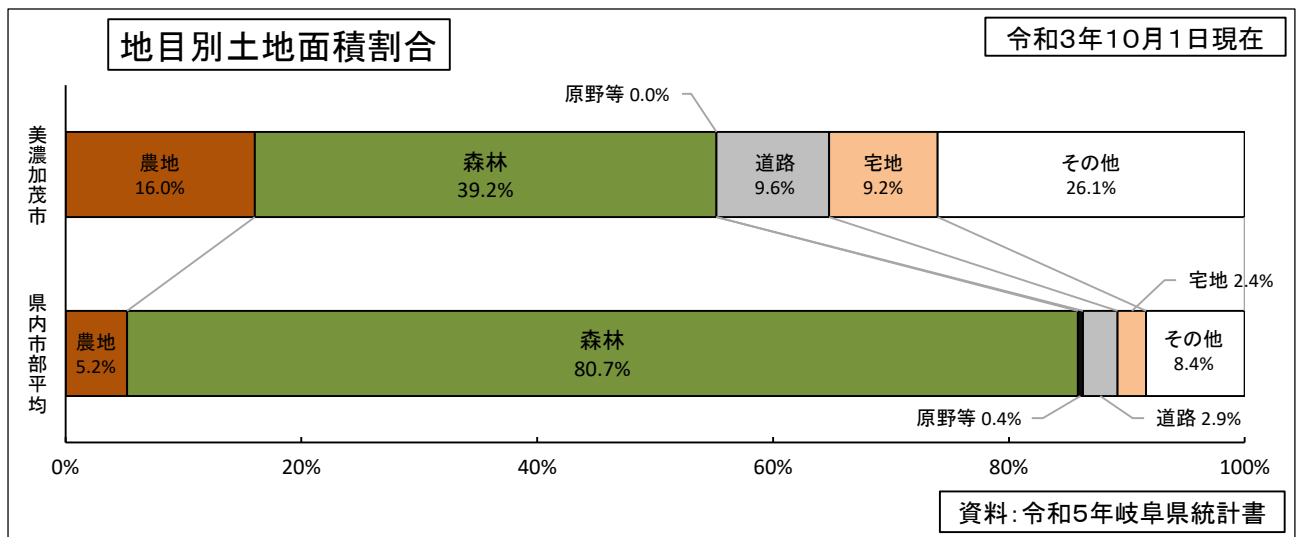


最高気温 …… 39.0℃

最低気温 …… -4.2℃

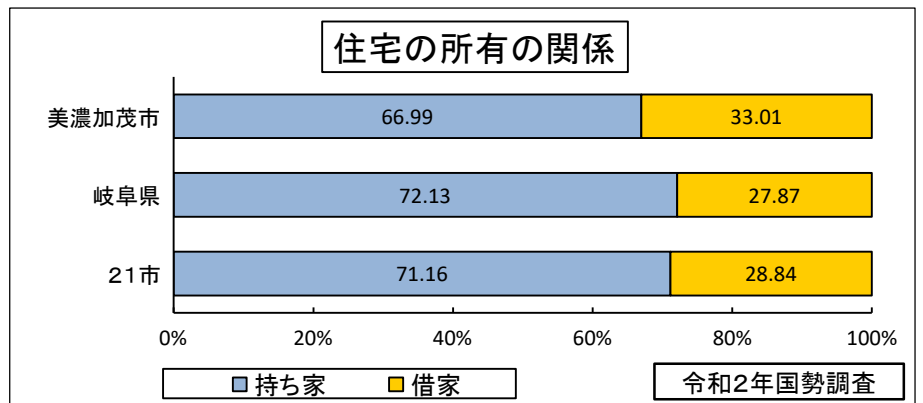
(令和6年)

土地利用

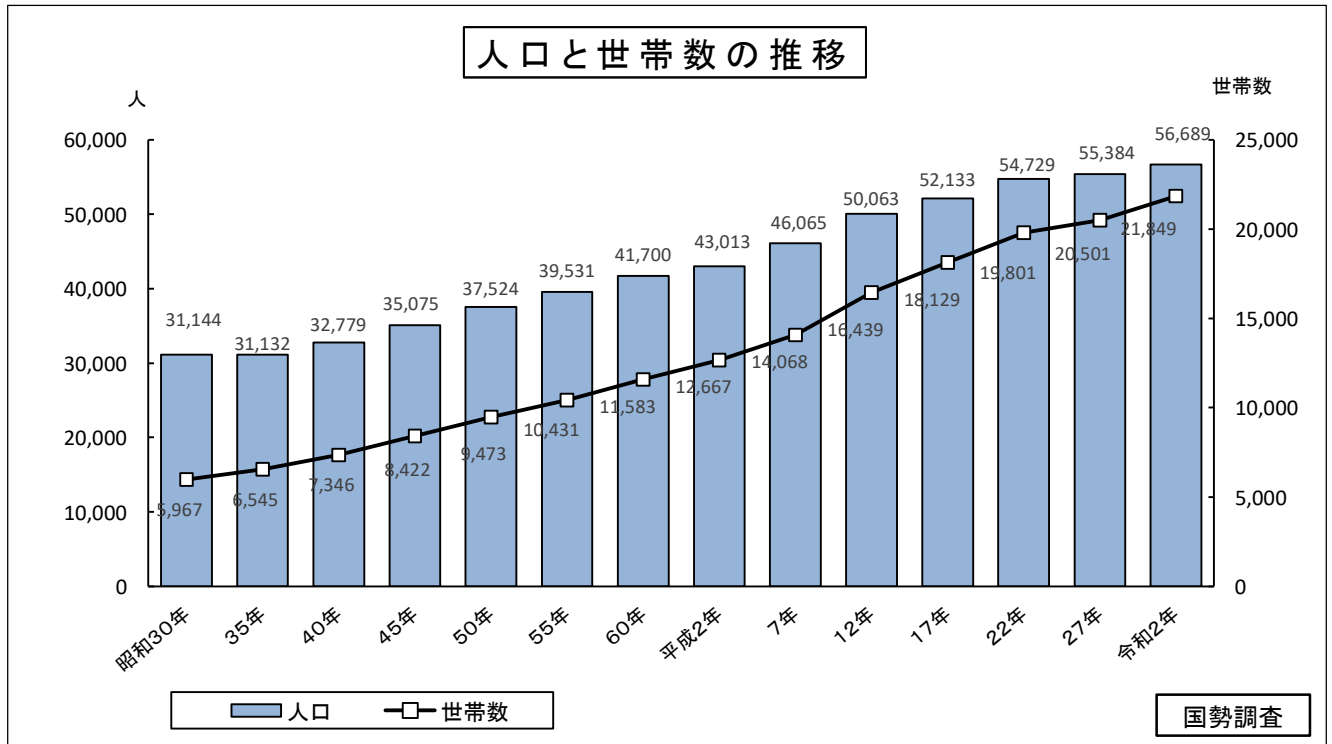


県内市部の平均と比べ、農地、道路、宅地面積の割合は大きく、森林面積の割合は小さくなっています。

住 居



人口動態



(各年10月1日現在)

区 分	人 口 (人)			世帯数
	総 計	男	女	
昭 和 3 0 年	31,144	15,383	15,761	5,967
3 5	31,132	15,331	15,801	6,545
4 0	32,779	16,125	16,654	7,346
4 5	35,075	17,331	17,744	8,422
5 0	37,524	18,524	19,000	9,473
5 5	39,531	19,614	19,917	10,431
6 0	41,700	20,703	20,997	11,583
平 成 2 年	43,013	21,308	21,705	12,667
7	46,065	22,889	23,176	14,068
1 2	50,063	24,772	25,291	16,439
1 7	52,133	25,924	26,209	18,129
2 2	54,729	27,037	27,692	19,801
2 7	55,384	27,362	28,022	20,501
令 和 2 年	56,689	28,141	28,548	21,880

*総計は、年齢「不詳」を含む。

美濃加茂市の人口は56,689人となり、平成27年から1,305人(2.36%)増加している。
 全国1,719市町村中1,419市町村(82.5%)で人口減少する中、美濃加茂市の人口は増加となっているものの、以前に比べゆるやかな増加となっている。

○地区別人口

地区	人口(人)
太田	11,893
古井	16,918
山之上	2,242
蜂屋	7,965
加茂野	10,334
伊深	1,032
三和	448
下米田	5,857
総計	56,689

(令和2年国勢調査)

*森山町6丁目(森山台)は山之上地区、
 野地原(山之上町・蜂屋町)は伊深地区で集計。

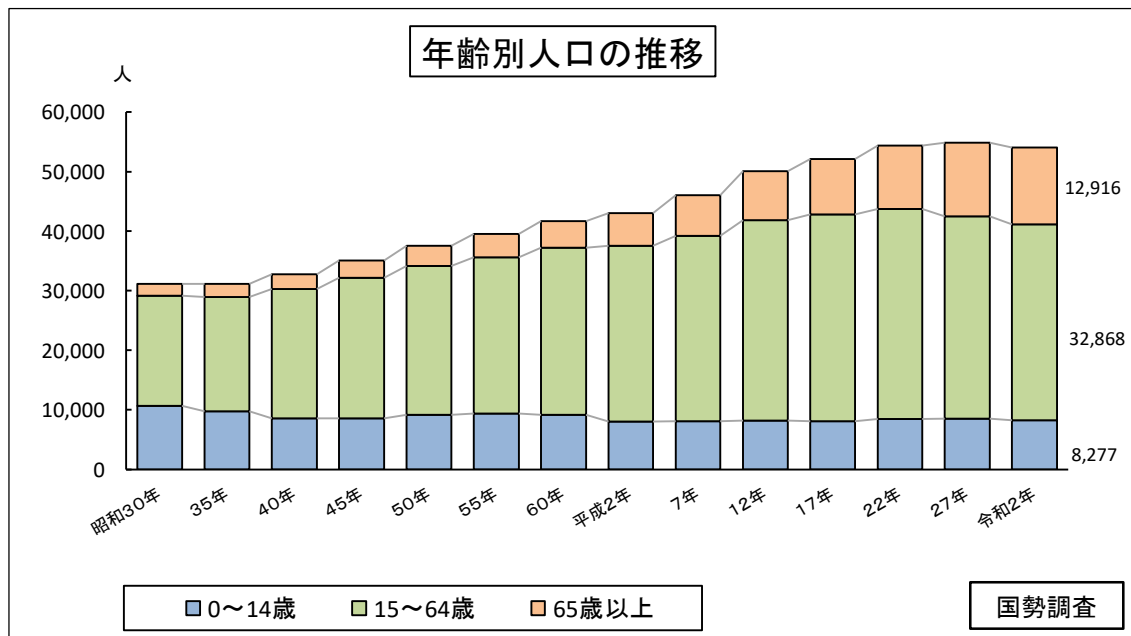
○昼夜間人口比率

市名	比率(%)
岐阜市	102.2
大垣市	103.5
高山市	101.1
多治見市	90.7
関市	102.3
中津川市	98.6
美濃市	105.1
瑞浪市	94.3
羽島市	87.4
恵那市	98.3

*夜間人口を100とする。

美濃加茂市	97.7
土岐市	96.1
各務原市	94.5
可児市	96.3
山県市	87.6
瑞穂市	81.9
飛騨市	96.9
本巣市	100.4
郡上市	98.2
下呂市	99.6
海津市	88.9

(令和2年国勢調査)



昭和30年には6.5%だった高齢者の人口割合は令和2年には23.9%まで増加し、逆に若年人口の割合は34.2%から15.3%まで減少し、少子・高齢化を顕著に表しています。平成27年と比較すると、高齢者の割合は1.4%増加し、若年者の割合はほとんど変化していません。

○年齢別人口・割合 (令和2年国勢調査)

年少人口（0歳～14歳）…………… 8,277人（15.3%）
 生産年齢人口（15歳～64歳）…………… 32,868人（60.8%）
 老年人口（65歳以上）…………… 12,916人（23.9%）
 平均年齢…………… 44.4歳

*年齢別割合は、年齢「不詳」を除いて算出。

○世帯構成 (令和2年国勢調査)

核家族世帯…………… 12,667世帯（59.2%）
 その他の親族世帯…………… 2,194世帯（10.3%）
 非親族世帯…………… 195世帯（0.9%）
 単独世帯…………… 6,331世帯（29.6%）

*世帯構成は一般世帯数。割合は、世帯の家族類型「不詳」を除いて算出。

○労働力人口 (令和2年国勢調査)

（ ）内の数字はうち女性就業者の割合
 総数…………… 28,236人（45.0%）
 第1次産業〈2.6%〉…………… 719人
 第2次産業〈40.2%〉…………… 11,232人
 第3次産業〈57.2%〉…………… 15,963人

○登録人口(人)・世帯 (令和7年3月1日現在)

国籍	男	女	計	世帯
日本人	25,376	25,965	51,341 (89.3%)	21,526
外国人	3,203	2,980	6,183 (10.7%)	2,991
計	28,579	28,945	57,524	24,517

○外国人登録者数(人) (令和7年3月1日現在)

国籍	男	女	計
フィリピン	1,151	1,474	2,625 (42.5%)
ブラジル	1,146	1,004	2,150 (34.8%)
ベトナム	411	145	556 (9.0%)
中国	78	105	183 (3.0%)
韓国・朝鮮	29	39	68 (1.1%)
ペルー	37	38	75 (1.2%)
その他	351	175	526 (8.5%)
計	3,203	2,980	6,183

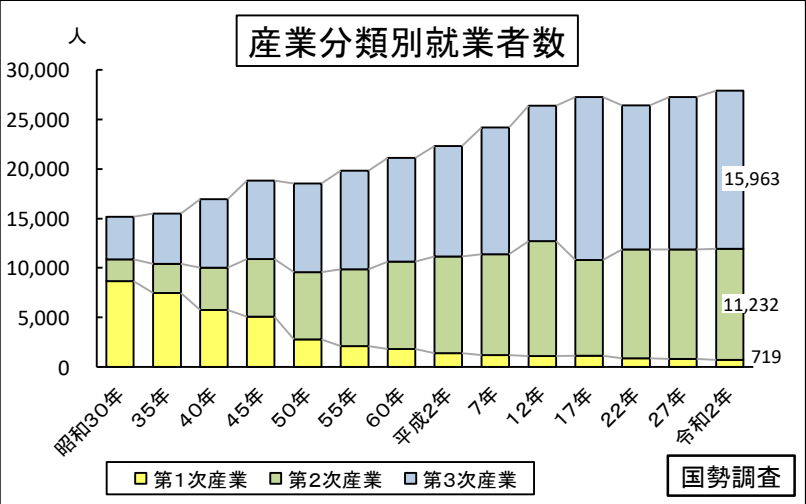
○選挙人名簿登録者数…………… 42,554人 (令和6年9月現在)

産業構造

○産業分類別市内事業所数・従業者数(民営事業所のみ)

産業区分	事業所数	従業者数	1事業所当たり従業者数
農林漁業	16	119	7.4
鉱業、採石業、砂利採取業	1	6	6.0
建設業	238	1,480	6.2
製造業	279	6,984	25.0
電気・ガス・熱供給・水道業	7	299	42.7
情報通信業	14	40	2.9
運輸業、郵便業	60	1,391	23.2
卸売業、小売業	534	4,138	7.7
金融業、保険業	38	352	9.3
不動産業、物品賃貸業	126	356	2.8
学術研究、専門・技術サービス業	88	439	5.0
宿泊業、飲食サービス業	294	2,153	7.3
生活関連サービス業、娯楽業	196	958	4.9
教育、学習支援業	91	599	6.6
医療、福祉	197	4,456	22.6
複合サービス事業	14	272	19.4
サービス業(他に分類されないもの)	151	1,550	10.3
合 計	2,344	25,592	10.9

(令和3年経済センサス活動調査)



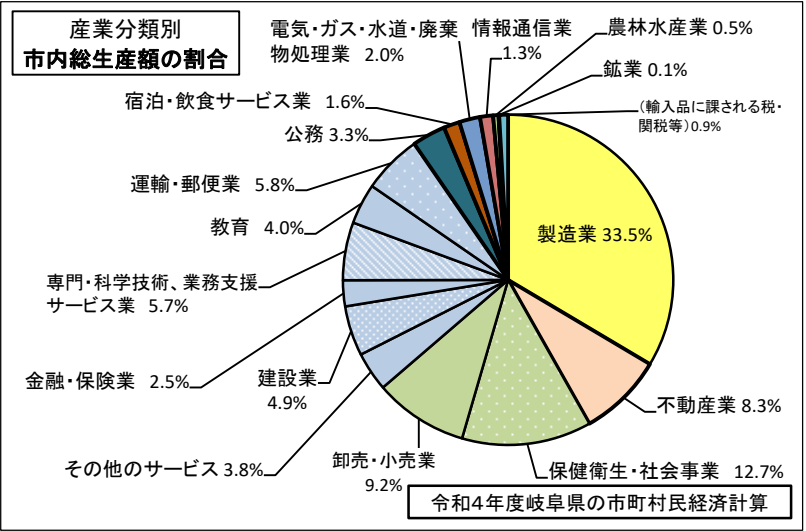
各産業別就業者の割合は、第1次産業2.6%、第2次産業40.2%、第3次産業57.2%です。
対平成27年の増減率は、第1次産業-0.5%、第2次産業-0.2%、第3次産業+0.7%です。

○市民所得と市内総生産

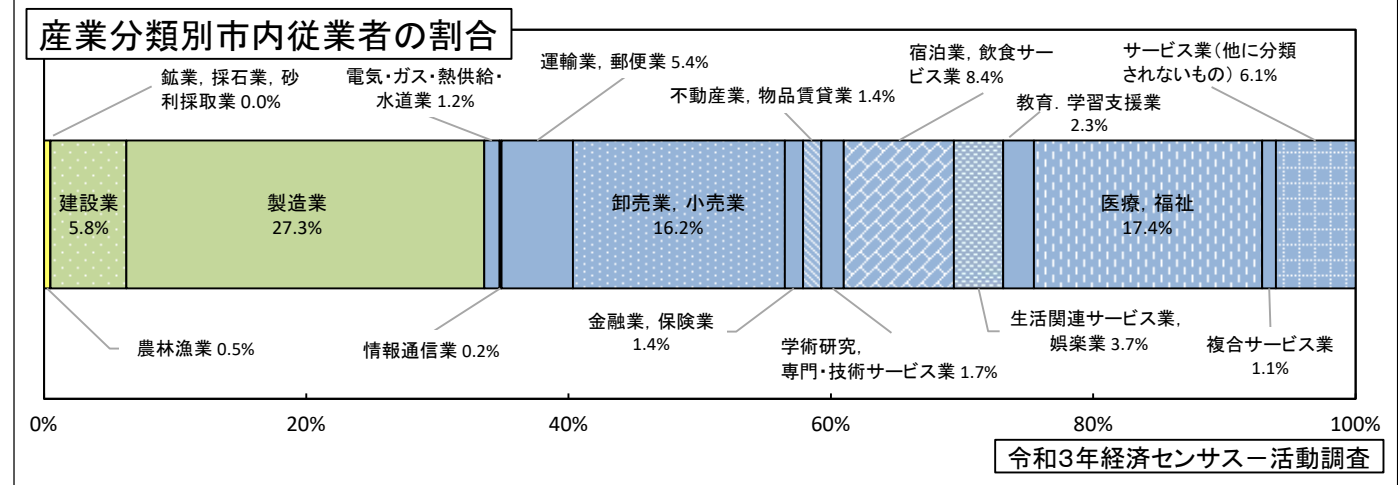
(千円)	人口1人当たり市民所得	就業者1人当たり市内総生産
美濃加茂市	3,042	7,945
岐阜県	3,192	8,211
21市	3,206	8,186

(令和4年度岐阜県の市町村民経済計算)

1人当たり市民所得とは住民個人の給与水準を表すものではなく、企業の利潤などをも含んだ経済全体の所得水準を表します。



市内の総生産額(2,338億円)を産業別に見ると製造業の割合が最も高くなっています。



令和3年経済センサス活動調査

産業分類別の従業者数割合を示したものです。製造業、医療、福祉、卸売業、小売業に就いている人が多いことがわかります。

○工 業(従業者数4人以上の事業所)

事業所数	139
従業者数(人)	6,789
製造品出荷額等(百万円)	223,447

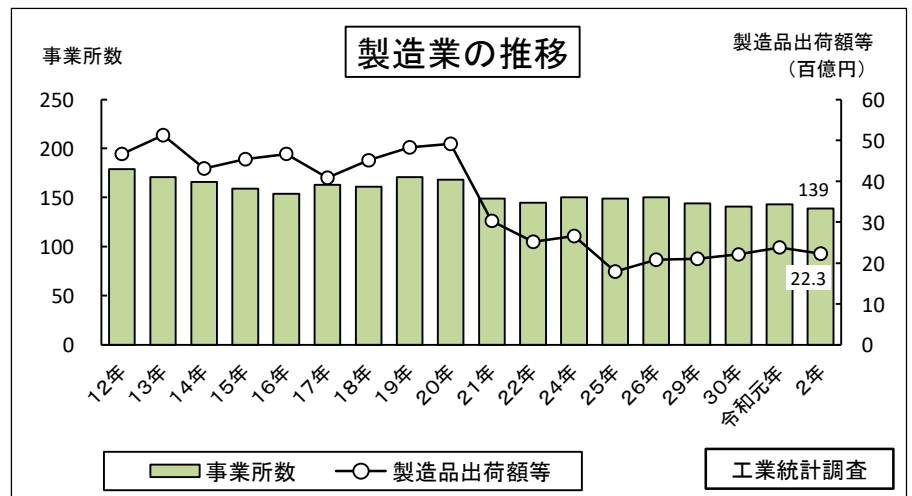
○従業者1人当たりの製造品出荷額等(万円)

美濃加茂市	3,291
岐阜県	2,906
21市	2,902

○製造品分類別出荷額割合(%)

食料品	10.9
繊維工業	0.2
家具・装備品	0.5
印刷・同関連業	0.1
化学工業	3.7
プラスチック製品	1.5
ゴム製品	0.9
窯業・土石製品	1.5
鉄鋼業	13.5
金属製品	9.3
はん用機械器具製造業	0.0
生産用機械器具	41.4
業務用機械器具	0.1
電気機械器具	3.9
輸送用機械器具	3.5
その他の製造業	0.1

*秘匿項目があるため、
総計は100%と一致しない。



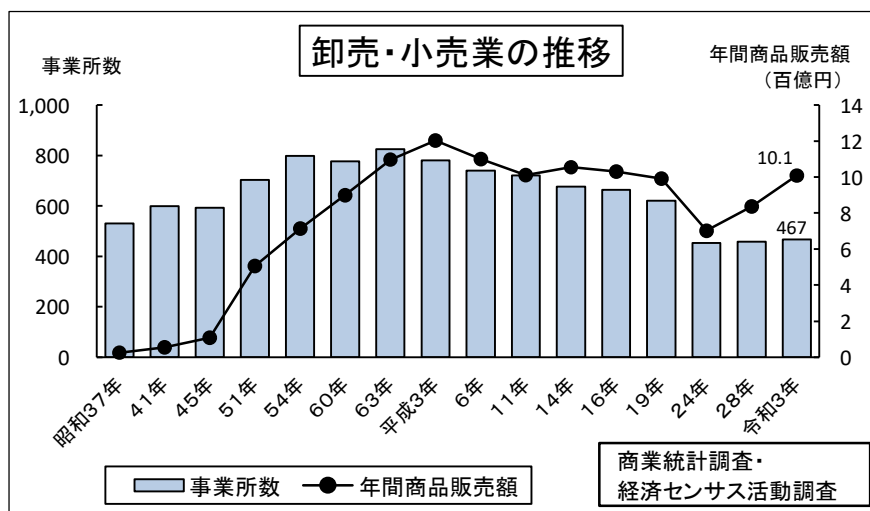
令和2年調査の製造品出荷額は、県内21市中で各務原市、大垣市、
可児市、中津川市、関市、岐阜市に次いで第7位となっています。
(令和2年工業統計)

○商 業

	卸売業	小売業
事業所数	93	374
従業者数(人)	569	3,020
総年間商品販売額(百万円)	44,173	56,720

(令和3年経済センサス活動調査)

※管理、補助的経済活動のみを行う事業所、産業細分類が格付不能の事業所、卸売の商品販売額(仲立手数料を除く)、
小売の商品販売額及び仲立手数料のいずれの金額も無い事業所は含まない。



年間商品販売額は平成3年の1,202億円を頂点に、また商店数も昭和63年の825店を最高に
下降傾向にありましたが、平成28年より増加となっています。

○農林業

総販売農家数(戸)	540
農家経営耕地面積(a)	55,617
田	37,372
畑	9,723
樹園地	8,522
林野面積(ha)	2,946

(令和2年農林業センサス)

(令和5年岐阜県森林・林業統計書)

医療・保険

○医療施設 (令和3年10月現在)

病 院	3
一般診療所	69
歯科診療所	37
病床数(床)	899

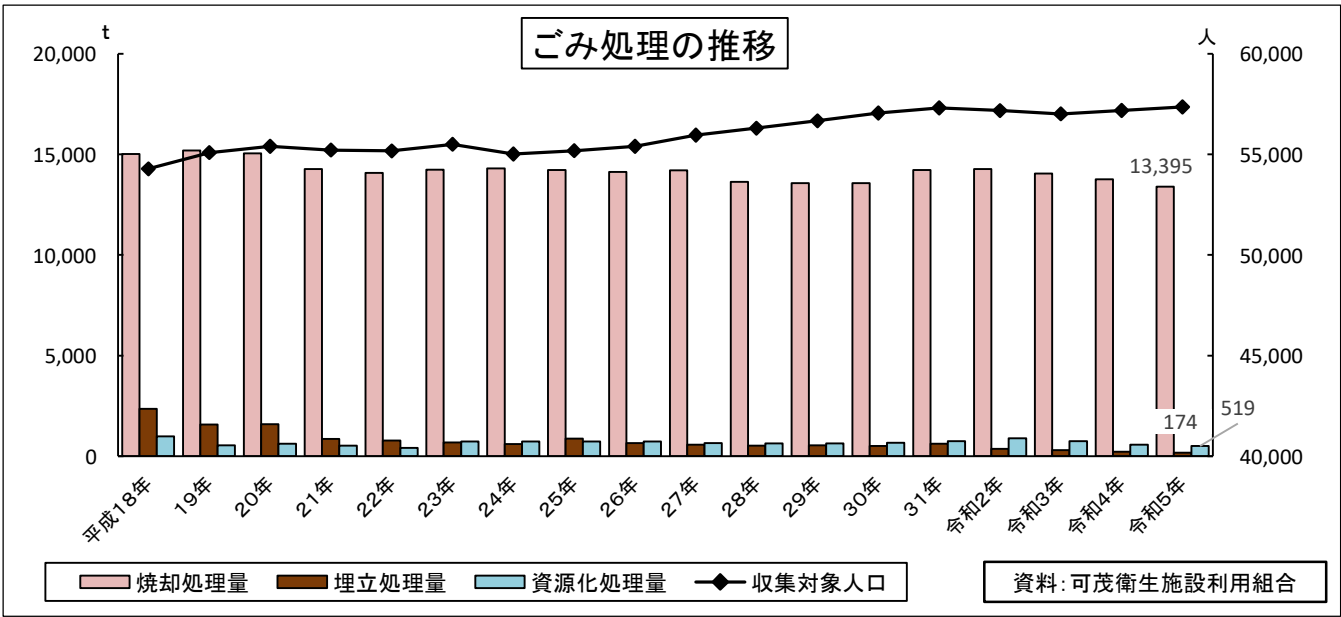
○国民健康保険の状況 (令和5年度)

国民健康保険被保険者世帯数(世帯)	5,839
-------------------	-------

衛 生

○ごみの排出量(トン) (令和5年度)

可燃ごみ(生活系・事業系)	13,926
粗大ごみ(可燃・不燃)	322
資源ごみ(缶・ビン)	170
資源(PET・トレイ・発泡スチロール)	14
《 集 団 資 源 回 収 》	
新聞紙	60
雑誌類	73
ダンボール	37
古着・布切れ	3
アルミ缶	5



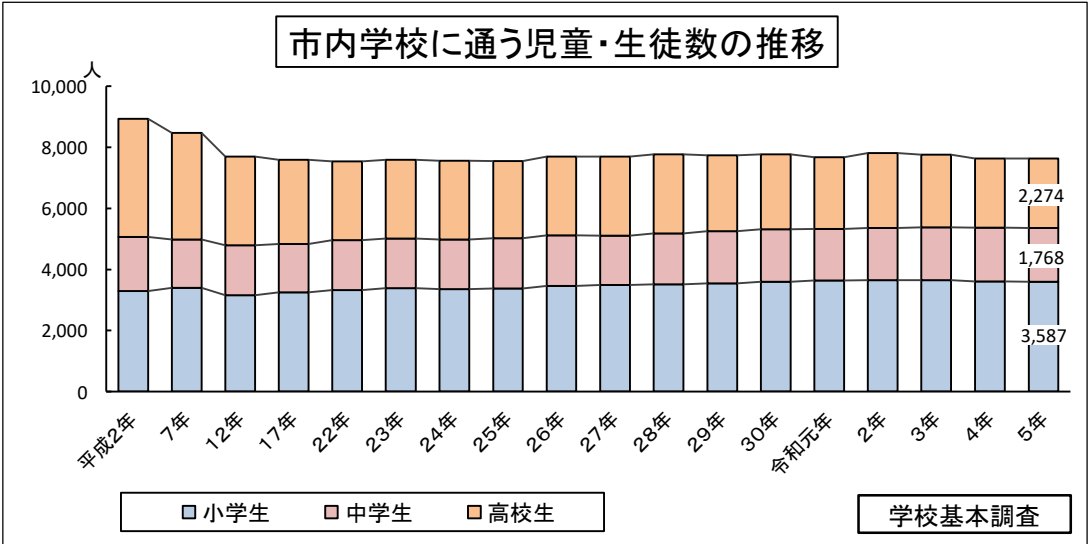
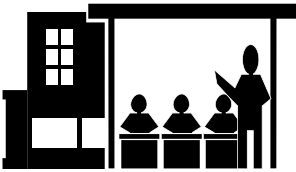
ごみの焼却処理量は、昨年より373トン減少しました。

社会福祉

○身体障がい者手帳所持者数 1,553人 (令和5年度)
○国民年金受給権者 13,263人
○総合福祉会館利用者数 79,572人
うち一般来館者数 32,666人

○保育施設数 (令和6年度)
公立保育園 6園
公立認定こども園 1園
私立保育園 5園
私立認定こども園 3園
地域型保育事業所 4事業所

教育



○学校等の状況

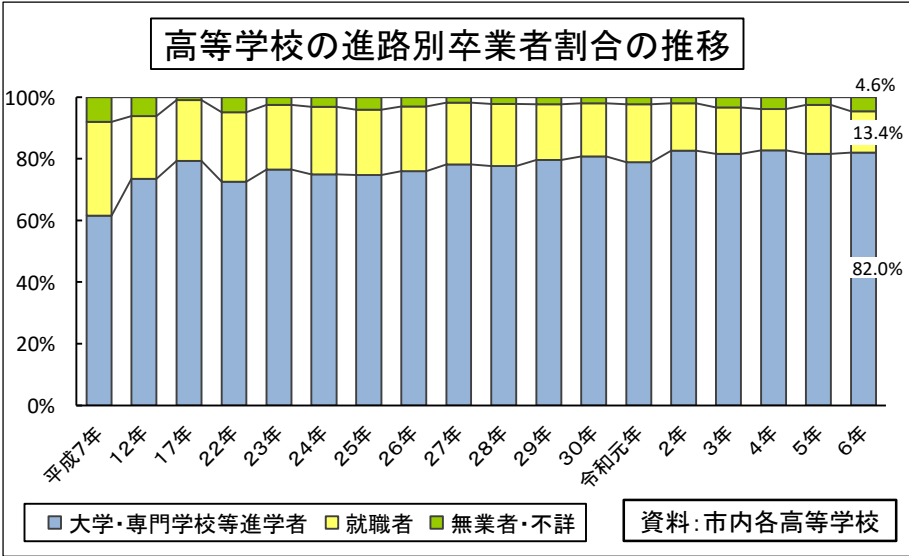
	施設数	学級数	児童・生徒数(人)	教員数(人)
幼稚園	1 (2)	13	272	36
幼保連携型認定こども園	1	9	228	25
小学校	9	153	3,587	239
中学校	3 (4)	66 (78)	1,768 (2,089)	118 (142)
高等学校	3	—	2,274	176

* 幼稚園の()内は、休園中の園を含む数値
* 中学校の()内は、組合立を含む数値
(令和5年度学校基本調査)

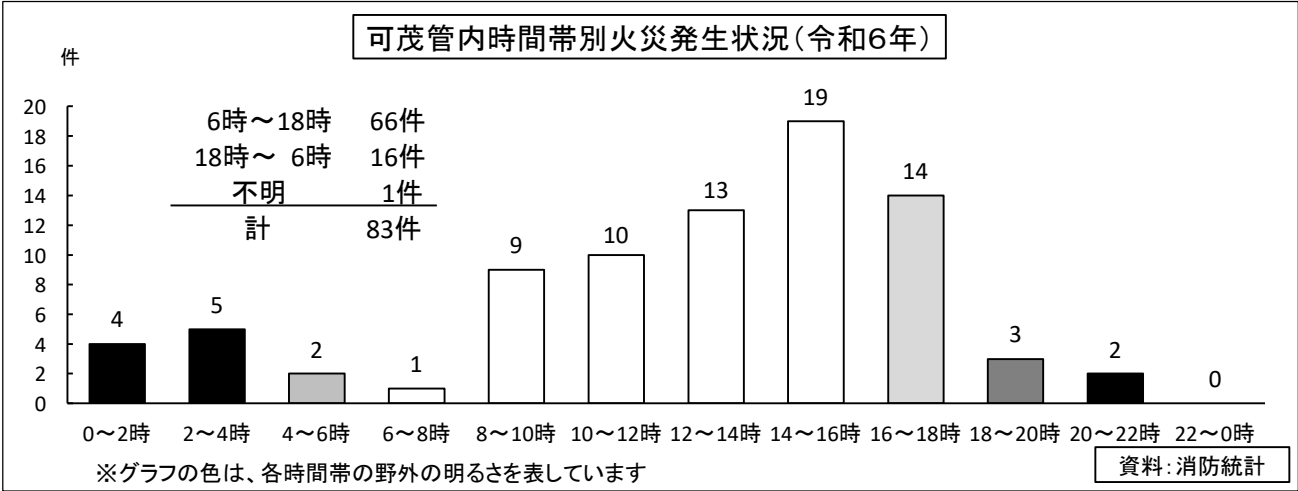
○大学・専門学校等進学率 (%)

可茂地域	75.9
岐阜県	78.5

(令和5年度学校基本調査)



防災



令和6年中の可茂管内の火災発生件数は83件で、比較的昼の明るい時間帯に多く発生しました。
令和6年中の市内の火災発生件数は23件で、救急出場件数は2,803件でした。

交通

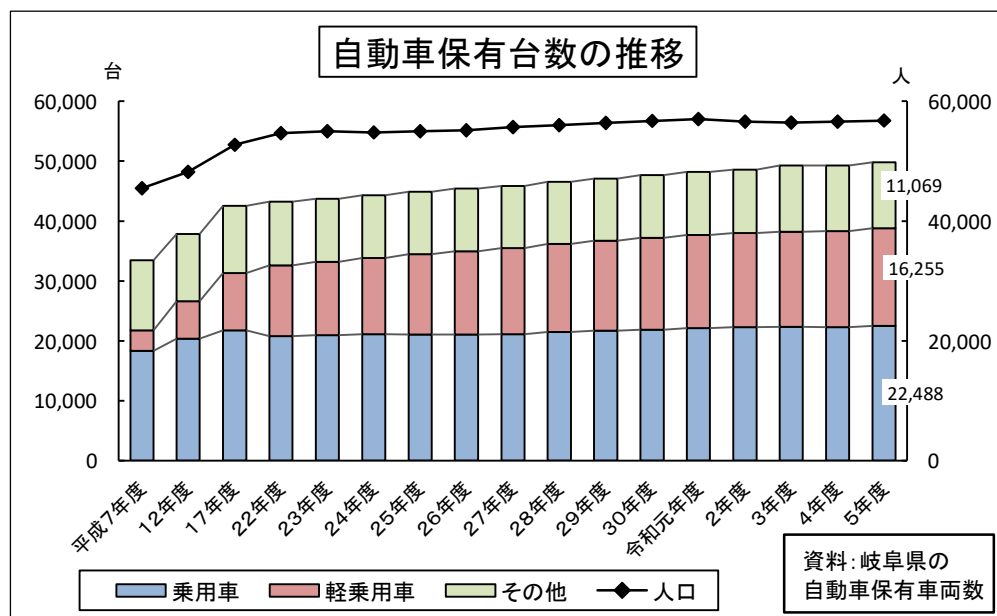
○公共交通

JR高山本線(美濃太田駅、古井駅)
JR太多線(美濃太田駅、美濃川合駅)
長良川鉄道(美濃太田駅、前平公園駅、加茂野駅)
あい愛バス
東海環状自動車道(美濃加茂IC)
国道21、41、248、418号

○自動車1台当たりの人口 (人)

美濃加茂市	1.14
岐阜県	1.13
21市	1.15

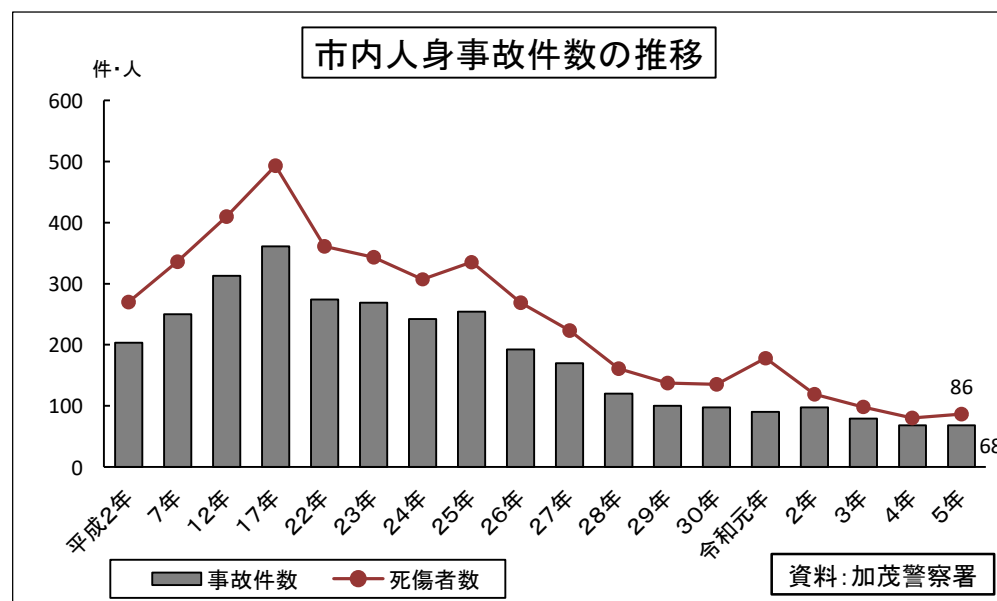
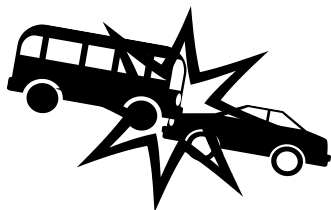
(令和5年度末)



○人口1,000人当たりの 交通事故死傷者数 (人)

美濃加茂市	1.51
岐阜県	1.96
21市	1.99

(令和5年)



事故件数は平成25年より年々減少傾向にあります。

市内交通事故多発箇所(令和6年)



ワースト	発生場所	合計	発生件数		昨年比
			人身事故	物損事故	
1	美濃加茂市山手町2丁目地内 太田町交差点付近	24	1	23	-1
2	美濃加茂市太田町地内 太田町北一中交差点付近	23	1	22	±0

※交通事故多発箇所は、発生件数がおおむね20件より多い場所を記載。

(加茂警察署調べ)

文化・観光等

○文 化

図書館蔵書数 中央 145,711 冊 (令和6年度)
東 105,519 冊
北部分室 2,625 冊

図書貸出冊数 中央 99,018 冊 (令和5年度)
東 134,752 冊
北部分室 1,309 冊

文化の森来館者数 61,154 人 (令和5年度)
文化会館利用者数 58,096 人
プラザちゅうたい利用者数 78,497 人
生涯学習センター利用者数 68,086 人

指定文化財 (R6年3月31日現在)

	国	県	市
件 数	4	10	38

○観 光

主要観光地入場者数 1,075 千人 (令和6年)
ぎふ清流里山公園 642 千人
小山観音 47 千人
中山道太田宿 35 千人
太田宿中山道会館 71 千人
みのかも健康の森 77 千人

主な行事 (令和6年)
おん祭MINOKAMO市民花火大会(中止)
おん祭MINOKAMO太田宿中山道まつり
みのかも市民まつり

○お国自慢

堂上蜂屋柿「食の世界遺産認定」「本場の本物認定」「地理的表示保護制度(GI)登録」
メタセコイアの珪化木(約2100万年前、スギ科の針葉樹が化石化)
旧太田脇本陣林家住宅(国指定文化財)
ネコギギ(国の天然記念物)
三和のゲンジボタル、梨、じねんじょ

インフラ

○建 設 (令和6年4月1日現在)

市道実延長 742.4km
都市計画用途地域面積 869.0ha
都市公園面積 52.7ha
市営住宅戸数 257戸

○電気・水道 (令和5年度)

使用電力量 439,745千kWh
上水道給水人口 56,985人
下水道普及率(公共・特環・農集含む) 95.5%
水洗化率 90.0%

行政経営の状況

○職員数・議員数

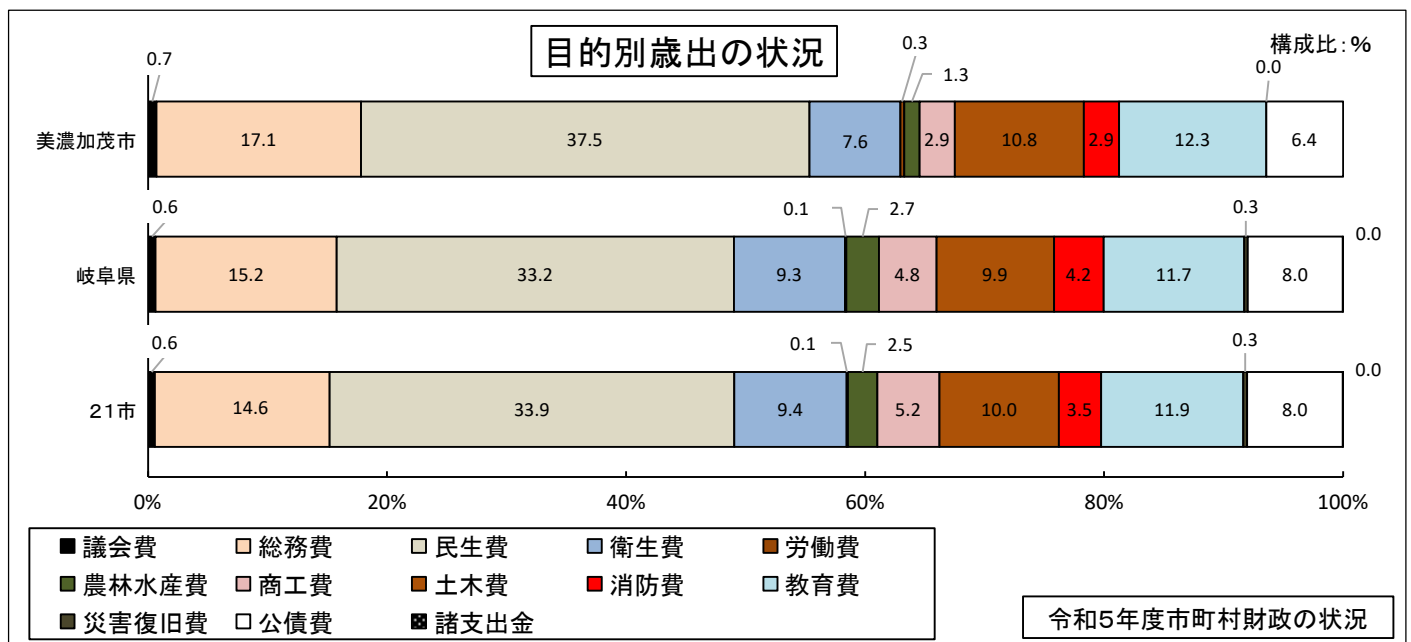
市職員数	369 人	(令和6年4月1日現在)
市議会議員数	16 人	(令和7年1月1日現在)

○財 政

令和5年度決算額

一般会計歳入	250億 8,671 万円
うち市税	92億 1,881 万円
地方交付税	29億 9,429 万円
国・県支出金	55億 9,596 万円
市債	9億 6,180 万円
その他	63億 1,586 万円
一般会計歳出	234億 1,612 万円
特別会計歳入	100億 3,986 万円
特別会計歳出	98億 245 万円

財政力指数(3か年平均) 0.760 (令和5年度)



令和7年度予算額

一般会計歳入・歳出	266億 3,000 万円
うち市税	94億 8,912 万円
地方交付税	28億 5,000 万円
国・県支出金	65億 8,433 万円
市債	14億 2,590 万円
その他	62億 8,065 万円
特別会計歳入・歳出	102億 7,711 万円

市民憲章

(昭和53年4月1日)

私たちは、豊かな水と緑の恵みをうけ、木曽の流れのようにひらけゆく未来をもつ、美濃加茂の市民です。
私たちはこのまちを愛し、たがいのしあわせを願い、ひとりひとりの誓いをこめて、この憲章を定めます。

- 1 健康で働き、心のかよう家庭をつくれます。
- 1 きまりを守り、いたわりあい、助け合って住みよいまちをつくれます。
- 1 自然をいかし、環境をととのえ、くらしのゆたかなまちをつくれます。
- 1 夢をもち、正しく強く生きる青少年の育つまちをつくれます。
- 1 教養を深め、文化の香り高いまちをつくれます。

都市宣言

- 交通安全都市宣言 (昭和40年5月8日)
産業経済の急速な伸長に伴い、陸運交通量は著しく増加複雑化し、交通事故の激増ぶりは真に憂慮すべきものがあり、その事故発生は市民の大きな不安となっている。このため市民の総意を決集して、交通事故の絶滅を期するために交通安全都市を宣言する。
- 青少年愛護非行防止都市宣言 (昭和41年5月9日)
社会環境を浄化し、青少年愛護の施策を強め、市民の皆さんのご協力をいただき、その力を結集することを期して青少年愛護非行防止都市を宣言する。
- 明るく正しい選挙を推進する都市宣言 (昭和42年3月25日)
われわれは、公職選挙法に従って誠実に行動し、選挙を前向き姿勢にして、買収・供応・デマなどの事前運動を根絶するため明るく正しい選挙を推進する都市を宣言する。
- 暴力追放都市宣言 (昭和46年7月20日)
明るく平和なまちづくりには暴力の追放が最も緊要である。われわれは、警察をはじめ関係機関、団体との連携を緊密にして「明るく住みよい美濃加茂市」を建設し、暴力の絶滅をするため暴力追放都市を宣言する。
- 平和都市・健康都市宣言 (平成元年3月25日)
平和を希求する都市
私たちすべての市民は、全人類共通の願いである核兵器廃絶が一日も早く実現され、戦争のない恒久平和が達成されることを心から希求する。
この願いを込めて、世界のすべての人々との交流をすすめ、相互理解を深め、世界の平和を訴えるものである。
- 健康を願う都市
心と体の健康は、幸せな生活の基本であり、人類共通の願いである。
私たちすべての市民は、健康で幸せな生活が保障されることを願い、不断の努力を重ね、広く理解を訴えるものである。
- 姉妹都市提携宣言 (平成元年6月2日)
オーストラリア・ダボ市

Walkable City Minakama

2024年美濃加茂市10大ニュース



※各ニュース見出しの後ろのカッコ内に該当月を記載しています。

ただし、複数の月にわたる内容については、当該ニュースに係る主な事業、イベント等の開催月を記載しています。



能登半島地震への支援と 初の住宅密集地大規模火災想定訓練の実施（1月）

1月1日に発生した能登半島地震および9月の能登半島豪雨に関して、市では1月3日からの給水活動や避難所運営のための職員派遣、物資や義援金を送るなどの支援活動を実施しました。

また、被災時にも役立つ知識や技術を習得できるよう、7、8月に親子を対象にした防災キャンプをリバーポートパーク美濃加茂で初開催したほか、11月には市消防団が加茂警察署や中消防署、岐阜県中濃生コンクリート協同組合と協力し、住宅密集地での大規模火災を想定した訓練を初めて実施しました。



新庁舎整備候補地4か所を決定（3月）

市で現在進めている新庁舎整備事業では、新庁舎整備ロードマップに沿って、令和7年3月に新庁舎の整備地を決定することを目指し、昨年に引き続き市民の皆さんの声を聞きながら進めています。市民4千人を対象に候補地に関するアンケートを行い、3月に上位4つを候補地として決定しました。その後、子育て世代、外国人市民、障がい児・者の皆さんとそれぞれワークショップを行うとともに、各候補地の長所、短所を調べる可能性調査を実施し、その結果を市民の皆さんと共有するタウンミーティングを12月に開催しました。





市制施行70周年を迎える(4月)

市制施行70周年を迎え、4月の70周年記念商品の発表会を皮切りに、多くの記念イベントを開催しました。11月には、かも〜るで記念式典を開催し、市内外から約350人が参加。当日は市出身の田中慈人さんによる70周年記念ソングの歌唱や加茂農林高等学校演劇部による「逍遙の庭」などが披露されました。

また、市民団体が企画する記念事業が各地で開催され、特に音楽フェス「ONE PARK RIVERFES 2024 in MINOKAMO」には、市内外から多くの人々が訪れ、まち全体で70年という節目を盛大に祝いました。



市民皆歯科健診をスタート(4月)

市では心・体・社会それぞれの健康を視点とした行動目標「みのかも健康10か条」に基づき、市民の健康増進に向けた取り組みを実施しています。

10か条の一つ「自分の歯を残そう」の実現に向け、生涯を通して切れ目なく、気軽に歯科健診が受けられる環境をつくるため、これまで20歳から70歳までの5年に1回だけ無料で受診できた「歯周病検診」の対象年齢を拡大。「市民皆歯科健診」と名称を変更し、全国的にも珍しい18歳から74歳までの人が年に1回無料で受診できる取り組みを開始しました。



こども家庭センター、発達支援センター開設！ 市民生活を支える窓口の充実(4月)

児童および妊産婦の福祉に関する包括的な支援を、切れ目なく円滑に実施していくため、みのかも健康プラザに「みのかもこども家庭センター」を、市役所本庁舎の福祉課に「発達支援センター」を開設しました。

また、多様化、複雑化、複合化する福祉ニーズに対応するため、さまざまな状態や立場の人にも対応し、地域とつなげるための重層的支援体制の整備も同時に進めています(広報みのかも8月、11月の特集で紹介)。

それぞれの支援体制の連携強化と横断的な取り組みにより、人にやさしいまちづくりを推進しています。





地域材活用拠点「IBUCAL」オープンと企業の森の拡充！ 里山千年構想を推進(5月)

伊深町にある旧櫻井邸が、地域材活用拠点「IBUCAL」としてオープンしました。伊深（IBUKA）の文化（CULTURE）を守り伝えたいという思いを込められたこの拠点は、木工旋盤などの機械を備え、運営会社ツバキラボが、県産材の木工製品の販売やワークショップなどを実施しています。また、市では里山千年構想の推進を図るため、企業や県と協働して森林づくりに取り組んでおり、今年は豊田合成(株)の「樹守の里」1.5haの拡充に加え、新たに富士通Japan(株)と5.4haの協定を締結し、企業の森の面積は21haになりました。



第20回美濃加茂市坪内 逍遙大賞 狂言師「野村萬斎」さんに決定(5月)

美濃加茂市出身の近代文学の先駆者、坪内逍遙博士の功績を称え創設した「坪内逍遙大賞」の第20回授賞者として、狂言師の野村萬斎氏が決定し、5月22日㊦、市役所にて記者発表を行いました。

第5回坪内逍遙大賞には萬斎さんの父・野村万作^{のむらまんさく}さんが受賞しており、初の親子二代での受賞となりました。第20回坪内逍遙大賞の授賞式や記念事業は、令和7年3月30日㊧に開催する予定です。



教育に豊かな体験を 小学生を対象に 「ふるさと木曽川を感じる体験研修」開始(5月)

地域の自然を活かした体験学習の充実のため、市内全9校の小学6年生（一部は5年生）を対象に、木曽川をラフティングボートで川下りする体験を実施しました。

昨年までは一部の小学校での実施でしたが、豊かな体験学習を通じて郷土愛や仲間意識を醸成するとともに、水難事故を予防して将来にわたり安全に暮らせるよう、今年度から対象を市内全小学校に拡大しました。児童たちには、木曽川の自然に触れながらその美しさと川遊びの危険性を学ぶ貴重な機会となりました。





オーストラリア・ダボとの 姉妹都市提携35周年(10月)

オーストラリアのダボと市は、毎年学生を相互に派遣し、国際感覚の育成と両市の友好親善を行っています。これは平成元年に結んだ姉妹都市提携に基づく交流で、今年は提携35周年を迎えた記念の年として、両市の代表団が相互に訪問しました。

4月にはダボからの訪問団が、リバーポートパーク美濃加茂などの縁の地を訪問。11月の市制施行70周年記念式典にも出席いただいたほか、10月にダボ市で開催された祝賀会に当市が参加し、相互理解と友好親善を誓う宣言書を取り交わしました。



開庁時間の短縮実施 業務改善とDXにより市民サービスを維持向上(11月)

11月1日から「書かない窓口」を市民課と国保年金課で導入するとともに、本庁舎や分庁舎などの開庁時間を、午前8時45分から午後4時45分に変更しました。変更により短縮された時間は、事務処理の確認や課題等の整理、共有などの組織機能の向上と、市民サービスの品質向上に活用しています。

今年策定した美濃加茂市DX推進計画に基づき、LINEを活用した「スマホ市役所」や「書かない窓口」の充実を図ることで、適切な市民サービスの維持・向上に努めます。

